

中学部 数学科 クローバーグループ 「お金の学習」

生徒の実態(クローバーグループ)

- ・金種の理解、万の単位までの読み方は理解しているが、等価関係の概念獲得や両替の知識定着などは不十分
- ・自分で買い物をする事ができるが、状況や目的などで支払い方を考える意識は見られていない
- ・落ち着いて授業に取り組み、自分の気持ちや考えを互いに伝え合うことができる

単元のねらい

金銭に関する**基礎的な知識**を身に付け、それらの知識を活用しながら**いろいろな支払い方を考え**、その中から自分で支払い方を**選択**できるようにする

単元の目標

- 1) 基本的な等価関係や両替を理解することができる **【知識・技能】**
- 2) 自分の支払い方と**比較したり**、異なる支払い方に**気付いたり**できる **【思考・判断・表現】**
- 3) お金の支払い方に関心を持ち、**自分から支払い方や理由などを考える**ことができる **【主体的に学習に取り組む態度】**

学習グループ

中学部では、習熟度と教育的ニーズに応じて4つのグループに分かれ、国語・数学の授業を行っている

- 「♥ハート グループ」
 - 「◆ダイヤ グループ」
 - 「♠スペード グループ」
 - 「♣クローバーグループ」
- 1年生1人・2年生1人
3年生2人 計4人

単元の計画(10, 11月:全5回)

次	題材	学習活動	時間	評価方法
1	・お金の種類(「金種」) ・同じ金額(「等価関係」) ・両替 ・いろいろなお金の組み合わせ	・ワークシート ・ペア活動 ・発表	2	行動観察 ワークシート 発表
2	・ちよどの支払い方 ・おつりがある支払い方 ・どんな払い方?	・ワークシート ・発表	1	行動観察 ワークシート 発表
3	・こんなとき、どうする? 「枚数が少ない支払い方」 「硬貨をへらす支払い方」 「見通しを持った支払い方」	・ワークシート ・発表	2	行動観察 ワークシート 発表

授業の流れ

- ①【前時までの振り返り】
基礎的な知識の確認と定着。前時の振り返り
- ②【本時の学習】
本時の学習を行う
- ③【「考えてみよう!」】
いくつかの課題設定において、自分だったらどんな支払い方をするか理由も合わせて考える
- ④【発表】
自分の支払い方や理由を互いに発表し合う。友達の考え方を聞いて、学びを深める

授業づくりのポイント・工夫点 ②

<課題設定>

- ・ねらいに基づいた課題設定。いろいろな支払い方を引き出せるような数値や表現(伝え方)
- ・段階的な設問
- ・ワークシートの活用
- ・十分な貨幣の種類と枚数



大学の先生からの助言

授業づくりのポイント・工夫点 ①

<基礎的な知識の確認と定着>

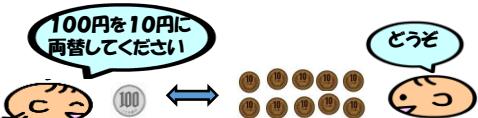
- ・本物の貨幣や画像などの視覚的教材の活用(等価関係を貨幣で捉える)
- ・もとになる等価関係を固定し、繰り返し提示する(合成と分解を混同しない)
- ・毎時間の最初に全員で復習
- ・互いに学び合えるペア活動
- ・等価関係を用いた応用問題(硬貨の組み合わせ)



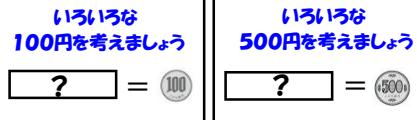
大学の先生からの助言

<等価関係>

<両替(ペア活動)>



<硬貨の組み合わせ>



実践経過 ①

- ・毎時間全員で行う復習によって、定着が見られるようになった
- ・視覚的教材の活用によって、数の計算で等価関係を捉えていた生徒が貨幣で捉えられるようになってきた
- ・最初の復習の時だけでなく、そのあとの学習の時も、それらの知識をもとにしながら考える様子が見られた

実践経過 ②

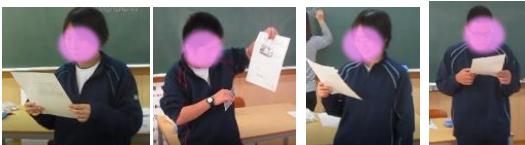
- ・それぞれの課題設定を理解し、設問に取り組んでいた。難しい生徒には、最初に教師とやりとりを行い、課題設定を理解したうえで設問に進んだ
- ・一人一人に十分な貨幣の種類や枚数、ワークシートを用意したことによって、自分の支払い方と、その理由を考えることができた
- ・設問に取り組むにつれて、その時考えられる支払い方をいくつか挙げ、その中から自分で選択する様子が見られた

授業づくりのポイント・工夫点 ③ <学びを深める>

- ・答えは1つではないという対応
- ・生徒たちの考え方+教師の付け加え(自分の考え方と比較したり、違いに気付いたりできるように)
- ・考える形態「自分で→みんなで→自分に」
- ・日常生活との関連
- ・板書の活用



大学の先生からの助言



<枚数が少ない支払い方>



同じ「2枚」でもそのあと(おつり)が違う!!

こんなに減るんだ!

<硬貨をへらす支払い方>



実践経過 ③

- ・考える形態を「自分で→みんなで→自分に」としたことで、友達の支払い方を聞き、再度自分の支払い方を振り返ることができた。そのうえで、「なるほど!」「そっかー!」という声がかかれ、さらなる学びへつながった
- ・板書によって、出された支払い方を見比べることができていた
- ・課題設定の場面と日常生活を関連づけて考えたり、関連に気付いたりできた

~日常生活との関連~

- <枚数が少ない支払い方>
- ・硬貨が多いと探しにくいから良い
- ・楽! 急いでいる時やレジが混んでいる時に良い

<硬貨を減らす支払い方>

- ・さいふが重くなる
- ・荷物も軽くなる